

神田外語大学 千葉開府900年をテーマにした桜商品販促 インバウンドも視野に入れて活動を展開

神田外語大学(千葉県千葉市)外国語学部国際コミュニケーション学科の鶴岡公幸教授ゼミの学生たちは、千葉の土産専門店「房の駅」を展開する(株)やます(千葉県市原市)と連携し、千葉開府900年をテーマにした桜商品の販促活動に取り組んでいる。

同大学は2025(令和7)年に千葉県と官学連携協定を締結し、地域課題解決や多文化共生を推進している。近年、千葉県ではインバウンド客の増加が進む中、地域の歴史や文化を分かりやすく発信することが重要となっている。語学・国際教育を専門とする同大学にとって、地域資源を国内外の来訪者に伝わる形で表現することは重要な実践であり、同プロジェクトでは、千葉の歴史を物語として工夫し、桜商品やイベントを通じて発信することで、インバウンドも視野に入れた販促

活動を展開していく。千葉市の礎を築いた千葉市の歴史や人物を、千葉市民はじめ、訪れを引く関東の名産として知られている。平安時代後期に千葉常胤が太宰(現在の緑区大椎町)から中央区亥鼻付近へ本拠を移したことで、千葉の都市としての歴史が始まったとされる。中興の相といわれる千葉常胤は、石橋山の戦いで房総へ逃れた源頼朝を助け、鎌倉を本拠とすることを進言するなど、鎌倉幕府創設に重要な役割を果たした人物。

今年、千葉開府900年を記念し、鶴岡ゼミ生ら(房の駅草刈店前にて)



2025年度神田外語大学鶴岡ゼミ生ら(房の駅草刈店前にて)

今年、千葉開府900年を記念し、鶴岡ゼミ生ら(房の駅草刈店前にて)の企画で、学生がアイデア提案と台紙デザインを担当した。こうした取り組みを通じて、桜まつりに学ぶ一環、当日の来場へつなげるとして、食品販促導線の設計も学生が企業との共同担当している。

また、学生が企画・撮影・編集までを手掛けた。プロモーション動画(YouTube: <https://www.youtube.com/shorts/4p913>)も話題となり、鶴岡ゼミの学生が企画した「桜の物語」を公開している。

影・編集までを手掛けた。プロモーション動画(YouTube: <https://www.youtube.com/shorts/4p913>)も話題となり、鶴岡ゼミの学生が企画した「桜の物語」を公開している。

鶴岡ゼミの崔炯智さんは「学生の視点だからこそできる発信を大切にしながら、千葉の歴史や桜の魅力を多くの人に伝えることが、今回の活動の大きな意義である」とコメントしている。



桜商品各種

「学生が考案したストーリーやプロモーション動画、『千葉城さくら祭り』での体験型販促を通じて、千葉の歴史と桜商品の魅力を伝えることを願っています。」